

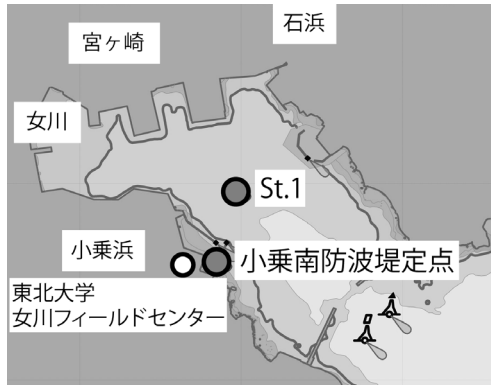
週刊 女川湾海況速報 (No.12)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

10 月 1 日から 5 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降傾向。鉛直的には、ほぼ一様もしくは水深とともに上昇。海面冷却にともなう鉛直混合の影響と推定。塩分は 3 日に全層で顕著な下降。降雨の影響と推定。

水深 [m]	10月1日 (月)	10月2日 (火)	10月3日 (水)	10月4日 (木)	10月5日 (金)
0	23.1 (33.6)	22.7 (33.5)	21.9 (30.5)	21.4 (30.7)	22.0 (31.8)
5	23.0 (33.5)	22.8 (33.5)	21.9 (30.5)	22.0 (31.4)	22.5 (33.1)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。
*3~5 日は荒天のため小乗南防波堤定点の 20m 程沖合での観測となりました。

②濁度：経時的には全層で 3 日まで下降。その後 4 日に顕著な上昇。

水深 [m]	10月1日 (月)	10月2日 (火)	10月3日 (水)	10月4日 (木)	10月5日 (金)
0	1.9	1.2	0.8	3.1	3.5
5	4.2	1.7	1.2	2.0	3.1

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、上昇傾向。3 日に全層で顕著な上昇。6~7mg/l 台を維持。

水深 [m]	10月1日 (月)	10月2日 (火)	10月3日 (水)	10月4日 (木)	10月5日 (金)
0	6.8	6.4	7.3	7.0	6.8
5	6.4	6.4	7.3	7.1	6.5

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はともに水深とともに上昇。濁度は 0.7~2.8FTU、底層（20m）で最大。溶存酸素は 6.1~7.4mg/l。水深とともに下降し、底層で最小。

10 月 3 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	22.0	30.5	0.8	7.4
5	22.1	30.6	0.7	7.3
10	22.5	32.4	0.9	6.8
15	22.8	33.4	0.8	6.4
20	22.7	33.6	2.8	6.1

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。